

# 社会福祉法人 三愛学園

## 自立援助ホーム 三愛子ひつじ寮通信

～NO. 1よりONLY ONE 君らしく輝け！～

第3号 2020年 10月10日

〒366-0829

埼玉県深谷市西大沼 325-2

TEL : 048-594-6406

FAX : 048-594-6416

MAIL : kohitsuji@galaxy.ocn.ne.jp

### 「働く」のは、何のため？

ホーム長 浅野 瞳

開所して半年。この夏は、「2020 夏の乱」と命名したくなるほどたくさんの試練がありました。夏の暑さが和らぎ、季節の変化と共に、ホームにも落ち着きがみられるようになりました。生活が落ち着くと、向き合うべき課題が少しずつ見えてきて、新たな流れを起こしています。

テーマになるのは、「『働く』のは何のため？」です。ホームに入居する際に、当然利用契約として「働く」ことについて確認しますが、働くイメージがわいていない場合が多く、措置契約前の一時保護という段階では、一層他人事になりやすいように感じます。ただ、それは私自身にも、彼らに厳しい現実を突きつけるだけの覚悟がなかったと言わざるを得ません。利用者によって課題は様々なので、支援の在り方は変わいかなくてはいけませんが、生きていくためにはお金が必要で、お金を稼ぐためには働くかなくてはいけないのが現実です。そういう厳しい現実と向き合っていくのが自立援助ホームなのだと私自身が現実の厳しさを改めて痛感しています。

「『働く』とは『はた(周囲)』を『楽』にするためにある」、と言った人がいました。何かで人の役に立ったり、自分を必要してくれる場所があるということはとても幸せなことです。失敗体験の多い利用者にとっては、職場で必要とされる経験や誰かの役に立ったと思えることが自信につながり、責任感の芽生えにもつながるのではないかと思います。「何のために働くのか？」という問い合わせは一つではありません。

利用者の一人は、初給料を銀行でおろしお札を手にしたとき、見たこともない嬉しそうな顔をして喜びを噛みしめていました。貯金の目標を立て、お給料日を楽しみに毎日頑張っています。働く喜びを見つけた瞬間は、大変な時を乗り越える糧になるでしょう。

利用者それぞれが、自分の中での「『働く』のは何のため？」という目的や喜びを見つけ、受け身ではなく、自発的に働くことができるよう見守っていきたいと思います。

### 三愛子ひつじ寮 在籍状況報告（累計）

各月1日時点の在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
措置	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
一時保護		2名	2名	2名	3名	3名	3名
緊急一時保護					1名（～8/19）		
体験入所					※1名（8/19～8/27）		
合計	2名 (新規2名)	4名 (新規2名)	4名	4名	6名（新規2名） ※1名体験入所	5名	5名
男女比 (男：女)	1：1	2：2	2：2	2：2	2：5	2：3	2：3

※退人数：1名（緊急一時保護児童のみ）

## 子どもたちの今。。。.

## ～2020 夏の思い出～

順調に仕事をがんばれる時もあれば、失敗したり、思い通りにならなくてむしゃくしゃすることもある。  
みんないろいろあるけれど、確実に前に進んでいます。

9月21日月曜日職場の皆で静岡県下田落居海岸に行って参りました。私にとって一生忘れられない最高の旅になりました。今日まで有難う。(Hさん 18歳)

最近、仕事が見つかり、ようやく働くことが出来るので、体がしっかり動かせるよう頑張って生活リズムを整えたいと思います。(R君 18歳)

BBQ 楽しかった(^\_~)だけ  
ど、かたわら仕事で色々多々あ  
ったけど、ゲームで問題無く併  
用できているから、問題なっし  
んぐフォーエバー降臨。(T君 17歳)



Mさんが育てています。

夏休みは終わるのが早くて、あっ  
という間に終わっていてつまんな  
かった。9月26日から秋休みに  
入るので休めるし、学校いかなく  
てすむ♪～(Mさん 16歳)



バーベキュー  
たのしかった♡  
(Aさん 17歳)

Aさん、暑い中、洗車して  
くれてありがとう！

### 第3回

## 子ひつじパーティー開催！



画:Aさん

8月12日(水)、夕食を兼ねてBBQを行いました。浅野ホーム長の“晴れ女”パワーで夕方の雨も止み、炭火で焼いた肉・エビ・野菜、焼きそばまで、モリモリ美味しくいただきました。Hさんは少し遅れて、T君は残業で終わりに近づいたころようやく帰寮。お仕事、疲れさまでした。



寮の玄関先で炭をお  
こす本格的なBBQ。  
小澤C特製のお稲荷  
さんは安定の人気メ  
ニュー。

## スタッフルーム。。。.

### 呼び名が変わりました

子ひつじ寮に入寮時は、私のことを「小澤さん」と呼んでいた子どもたちですが、3か月ぐらい経った頃ひとりの女子が「おざわちゃん」と親しみをもって呼んでくれるようになりました。それにつられて他の子どもも、「『おざわっち』『ざわざわ』と呼びたいと思ってる」と言ってくれるようになったことが、子どもたちとの関係が少しずつ近づいてきたように感じ、嬉しく思うこの頃です。(小澤C)



童心に帰って、  
近所の公園に遊びに行くこともあります。  
写真:Mさん



備えあれば憂いなし。

### 防犯・防災用品そろえました

防犯対策として、玄関外や2階非常階段に防犯カメラおよびセンサーライトを設置予定です。また、災害などに備え非常食を購入しました。非常食は3月11日(東日本大震災発生日)に全員で実際に食べる予定です。過去の教訓を忘れずに日頃から防犯・防災を意識して生活していきます。(高橋C)

### 新しい生活スタイル ～with コロナ～

4月7日の緊急事態宣言から半年。3密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用や手指の消毒も当たり前になりました。集団生活をする私達も、感染予防対策を徹底しています。毎朝検温、手洗いうがいの励行、ドアノブの消毒、適度な換気、体調不良者の隔離。今後も利用者と職員の健康管理を心掛けたいと思います。



使用済みマスクは感  
染源になるので、  
“マスクマン BOX”に  
捨ててもらいます。

### ■ご支援・ご寄付のお願い■

子どもたちの生活に必要な物品や食料品のご支援をお待ちしております。米、パン、調味料、お菓子、ジュースなどの食料品や、洗剤、トイレットペーパーなどの日用品は大歓迎です。ご寄付をお考えの方はお電話かメールでご相談ください。

### 編集 後記

新入社員は毎日が緊張の連続です。失敗したら嫌だな、上司に叱られたらどうしよう。そんなプレッシャーから解放されて子ども達が帰寮した時、夕食を共にして愚痴を聞いたり、くだらない話で大笑いしたりして、また明日も頑張ろうと思える。そういう安心感を与えられるような、あったかいホームを目指したいです。(佐藤C)